

明るい子 かしこい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

令和4年度 冬休み号

蕨市中央6-8-25

Tel 442-2672

児童数	(名)
男子	204
女子	174
計	378

冬の楽しみ～凧あげ、独楽回しの思い出～

校長 原田 卓治

いよいよ冬休みが始まります。皆様はどのようにお過ごしになるのでしょうか。

私の子供(小学生)の頃といえば、サンタクロースがくれるプレゼントに大喜びし、大晦日は「NHK 紅白歌合戦」をこたつに入りながら家族全員で視聴し、元日は親からお年玉をもらい、家族総出で初詣といったところでした。友達とは凧あげや独楽回しを楽しみました。

凧あげといえば、今は亡き父に教えてもらいながら作った凧を公園に上げに行ったことを思い出します。うまくバランスが取れず、凧がくるくると回って失敗し、作り直したり、尾の長さを調整したりして、苦勞して凧あげをしました。今のようにキットがあったわけではないので、自分で竹ひごを組み、和紙を張り、何度も挑戦したのを覚えています。そして、その凧が舞い上がったときの喜びはひとしおでした。

独楽回しについては、私は北九州市出身ですので、関東のそれと一線を画します。

私どもが回す独楽は木製です。大きさも様々で、独楽の中心が出べそのように膨らんでいるものや、形も円錐型をしているものから、らっきょ型等、様々です。独楽の芯は鉄製で、別売りです。そして、その鉄芯を木製独楽に自分で打ち込み、長さ等を調整して回すのです。

しかし、ただ回すだけではありません。その当時は、自分の独楽を思いきり相手の独楽にぶつけて、最終的には相手の独楽を割り、割った独楽の芯をもらうというルールなのです。今も行われているかどうかわかりませんが、今のご時世なら、受け入れられない遊びかも知れません。しかし、当時は親も公認の遊びなのです。中には、狙いがそれて、近くのコンクリート製の縁石に自分の独楽が当たり、その衝撃で割れてしまうなんてこともしばしば起こりました。(勝負は土の地面で行います。)

私が回していた独楽はらっきょ型で、芯も四角錐の当時「ダイヤ芯」と呼ばれた強力なものでした。当然相手の独楽を割りやすいのですが、狙われやすいのが難点です。4人で遊んでいるとき、残り3人が全員私の独楽を狙うなんてことも、よくありました。しかしながら、結局、私の独楽は割られることはありませんでした。

正月ならではの遊び、今も子供たちが楽しめるものがあるといいですね。

※独楽回しの様子です。

(別途通信料がかかります。)

